

平成 21 年 9 月 17 日

2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」
第 8 回議事録

開催日時：平成 21 年 7 月 8 日 17:00～19:30

開催場所：建築会館会議室

出席委員：浅野主査、五十田幹事、藍原委員、小瀬委員、角陸委員、小林委員、清家委員、
植本委員、恒次委員、中島委員、麓委員、高村（記）（WG 委員を含む）磯部氏、
大城氏、工藤氏、田中氏（オブザーバー）

配布資料：

- 8-1 木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会＋ワーキンググループ 第 8 回 議事
次第（五十田幹事）
- 8-2 2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」第 7
回議事録（高村）
- 8-3 木質バイオマス資源の有効利活用特別研究委員会（浅野主査）
- 8-4-1 木質バイオマス委員会つくば会議 議事録（案）（大城氏、大津氏、南部氏）
- 8-4-2 研究目的の確認など（小林委員）
- 8-4-3 第 5 回 マテリアル利用・再生 WG・バイオマスエネルギー利活用 WG 議事録（案）（木
質バイオマス資源の有効利活用特別委員会）（大城氏、大津氏）
- 8-4-4 木質バイオマス資源の有効利活用特別研究委員会 マテリアル利活用 WG・バイオマ
スエネルギー利活用 WG 検討項目リスト（案）（中島委員）
- 8-4-5 建築における木質バイオマスの利活用に向けて〈目次案〉（小林委員）
- 8-4-6 パワーポイント資料（小林委員）
- 8-4-7 森林資源の持続可能な利用に向けた対策の検討（大城氏）
- 8-4-8 輸入木材の環境負荷原単位の推計（大城氏）
- 8-4-9 AIJ 木質バイオマス資源の有効利活用特別研究委員会 2009. 7. 9 資料（中島委員）
- 8-5 建築設計者にとっての木の可能性（坂牛委員）
- 8-6 都市における水環境の課題（小瀬委員）
- 8-7 北信スギによる炭素固定（固定量に対する割合）（高村）
- 8-8 Jamie Meil 氏との意見交換スケジュール案（麓委員）

議事：

(1) 前回議事録の確認

資料 8-1 にもとづき前回議事録の確認を行い異議なく了承された。

(2) Jamie Meil 氏との意見交換について

麓委員から資料 8-8 に基づき、Jamie Meil 氏の紹介があった。特別研究委員会の拡大

委員会として9月17日(木)に意見交換会を開催する。9月17日のスケジュールは以下の通りとする。

13:00～14:00 特別研究委員会

14:00～17:00 拡大委員会

- ① 本委員会の活動内容について(浅野主査)
- ② 日本におけるカーボンフットプリントの現状などについて(東京農工大学服部先生)
- ③ カナダにおけるカーボンフットプリントの現状などについて(Jamie Meil氏)
- ④ 意見交換

17:30～(予定) 懇親会

- ・ 東京農工大学 服部先生への講演打診:恒次委員
- ・ 事務局への拡大委員会開催案内依頼:五十田幹事
- ・ 懇親会の段取り:五十田幹事、高村

Jamie Meil氏のご都合を麓委員にご確認いただく。

- ・ 本委員会の活動内容説明資料の準備:英語で準備する
表紙:五十田幹事、マテリアル利用・再生ワーキンググループとバイオマスエネルギー利活用ワーキンググループについて:2～3枚のスライドを用意する(WG主査)、建物地域システム検討ワーキンググループ:1～2枚のスライドを用意する(WG主査)、今後の方向性について(高村)

(3) 日加共催環境セミナーについて

麓委員から資料8-8に基づき、日加共催環境セミナーの説明があった。建築学会が後援になることは可能。主催者から学会へ申請して頂く。

(4) 次年度以降の活動について(主査)

次年度以降の委員会設置申請書などの書類が7月10日以降ダウンロード可能であることを確認した。浅野主査から次年度の委員会設置申請をする際の説明資料として資料8-5と資料8-6の説明があった。資料8-5は地球環境委員会で木材のビルへの適用を検討しており重複するため、資料8-6と組み合わせるなど表現方法を検討する必要があるとの意見があった。今後資料8-5と8-6の修正を行う。

また、本委員会の今後の方向性について浅野主査の意向を伺った。横断的な検討を行っていくべきである。また、散発的になっていることをまとめていくべきであるとの意見があった。

(5) 委員会活動報告について(高村)

建築雑誌9月号掲載の委員会活動報告について資料8-3にもとづき説明があった。開催回数の表現を修正する。米田先生の講演タイトルなど再度確認する。まとめを修正する。

(6) 各ワーキンググループの活動報告について

(6)-1 マテリアル利用・再生ワーキンググループとバイオマスエネルギー利活用ワーキン

ググループについて（中島委員、小林委員）

中島委員と小林委員から資料 8-4-1～8-4-9 にもとづきワーキンググループの活動内容について報告があった。小林委員作成の資料 8-4-5 が報告書の核となることを確認した。浅野主査より、日本各地で他の研究者が比較検討できるようにマテリアルフローの計算根拠などを示してほしい旨意見があった。

(6)-2 建物地域システム検討ワーキンググループについて（清家委員、工藤氏）

今後実施予定である木質バイオマスに取り組んでいる地域の調査計画について説明があった。

(7) 北信スギの炭素固定量について（高村）

資料 8-7 にもとづき、北信スギの炭素固定量、炭素放出量に関する資料の説明があった。

(8) 次回・次々回委員会

次回：9月17日（木）13：00から（9月24日の委員会は中止）

次々回：8月下旬に日程調整し決定する。